

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 医療サービスの向上

(1) 急性期病院としての機能の充実

地域における急性期を担う中核病院としての使命を果たすため、二次医療機関として必要な専門性のある診療体制を図り、さらなる医療の質の向上に努める。特にHCU（ハイケアユニット）の充実を図り、更に新病院ではSCU（ストロークケアユニット）の運用を検討する。

また、DPC対象病院として他病院との比較分析を行うなど、地域に求められた医療の展開を行うとともに、より効率的な医療の提供を進める。

(2) 救急医療の取組み

地域医療機関や消防との緊密な連携のもと、心筋梗塞、脳卒中、消化器疾患を中心に24時間365日断らない救急体制の整備に努める。

断らない救急体制のために、夜間救急外来の看護師増員や救急外来のバックアップ体制の維持を行いながら、不応需の分析を積極的に行う。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
救急車搬送受入数	2,760人	2,900人
救急入院患者数	2,040人	2,100人

(3) 4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）への対応

地域の中核病院として地域の医療機関との連携、明確な役割分担のもと、適切な医療を提供する。

ア がん

新要件に基づくがん診療連携拠点病院機能に準じた機能の整備を目指して、外科、消化器内科、泌尿器科の人的確保に努め、また、緩和ケアチームの整備について積極的な検討を行う。

イ 脳卒中

人的確保を行い、神経内科領域では急性期脳梗塞に対するt-PA治療を含む診療体制、脳外科ではくも膜下出血・手術適応のある脳出血・硬膜下血腫などに対する診療体制を整えていくとともに、十分なサポート体制を取れるように検討する。また、新病院移転後は急性期脳卒中入院に対するストロークケアユニット（SCU）について運用を検討する。

ウ 急性心筋梗塞

地域への応需体制に応えるため、24時間、365日体制で緊急での心臓カテーテルによる治療を行い、地域中核病院としての機能を維持す

る。

エ 糖尿病

糖尿病専門治療を行なう地域中核医療機関を目指す。現在の内分泌代謝科をより専門的な治療を行うために、糖尿病専門医、認定看護師などを中心にチーム医療を展開し、糖尿病透析予防管理を積極的に推進する。

(4) 小児・周産期医療の充実

地域医療機関、夜間休日急患センターとの関係を密にしながら、平日の受付時間を延長して小児二次救急医療機関として受入体制を強化する。また、地域周産期医療機関としての運営ができるよう産婦人科医師の確保に努める。

(5) 災害時等における対応

小山市や県南健康福祉センターおよび自治医科大学附属病院等と連携を図り、災害時における当院の役割を担う。また、災害拠点病院を補完する医療機関としてD-MATなどの機能整備に向けての検討を進める。

(6) 健診機能の充実

企業健診や人間ドック、脳ドック、心臓ドックなど市民のニーズに合った健診体制を整備するとともに、積極的に企業への周知活動を継続して行い、予防医療の充実を図る。また、人間ドック健診優良施設機能評価受審に向けた検討を行う。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
企業健診	567人	567人
一般健診	250人	250人
特定・生活機能健診	275人	280人
人間ドック	588人	900人
脳ドック	495人	560人

(7) 保健・介護・福祉との連携

小山市と協力し、健康講座や健康に関するフォーラム等を開催し、地域住民に向けて教育・啓発活動を推進する。また、近隣の医療機関、介護施設等と定期的な会合を開催し、連携体制の強化を図る。

更に、好評な病院ふれあい祭りを現病院で開催し、地域住民へPRを行う。

2 医療提供体制の整備

(1) 優秀な医療スタッフの確保

質の高い医療提供が出来る地域中核病院と在り続けるため、医師を始めとした医療従事者の自己研鑽サポート及び就労環境の向上に取り組む。

自治医大との連携や新たに地域への啓発活動を行いながら常勤医師の確保に努める。更には、看護師、技師、薬剤師等においても優秀な医療スタッフの登用を進め、医療体制拡充を図る。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
医師数	45人	48人
看護師数	226人	常勤250人

(2) 医療職等の専門性・医療技術の向上

専門性・医療技術を向上させるため、専門医や認定医、研修指導医、専門看護師、認定看護師等の資格取得に励む。また、教育研修制度及び施策等に対する支援制度の充実を図る。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
専門医数（延人数）	47人	50人
認定医数（人数）	67人	67人
指導医数（延人数）	10人	10人
認定看護管理者数	2人	2人
専門看護師数	0人	0人
認定看護師数	8人	10人

3 患者・住民サービスの向上

(1) 患者中心の医療

患者、家族の意思を尊重した治療及び検査が選択できるよう、インフォームド・コンセントを徹底する。また、入院から退院、介護、福祉に関して一括して相談できる医療連携相談機能をもった患者支援センターの充実を図る。

(2) 利便性及び快適性の向上

就業時間等の改善を通して検査開始時間の拡大を図り、診療待ち時間の効率化を図る。また、新病院移行に伴い、現病院では必要最小限な改修を行ながら快適な院内環境の提供を進める。

(3) 患者満足度の向上

患者のニーズを的確に把握し、患者サービスの向上に反映させるため、患者満足度調査を定期的の実施する。また、毎朝のあいさつ運動などにより職員ひとりひとりに患者満足度の向上を意識付ける。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
患者満足度	「満足」と「ほぼ満足」を足した割合が70%以上かつ「満足」の割合が60%以上	「満足」と「ほぼ満足」を足した割合が80%以上かつ「満足」の割合が60%以上

(4) 職員の接遇向上

現在、各部署から接遇向上委員を任命し、全職員に向けた意識付けを進めている。また、医療従事者のみならず間接スタッフ、委託職員等も含めた全従業員を対象とする実践的な接遇研修等も実施し、病院全体の患者対応力向上に努める。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
全職員対象接遇研修実施回数	年1回(職員150人以上の参加)	年1回(職員150人以上の参加)

(5) ボランティア制度の活用

新病院の開院と併せて現ボランティアの他に必要とされるボランティアの業務を洗い出し、ホームページや市の広報誌を活用し適任者の受け入れを進める。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
ボランティア登録人数	25人	25人

4 地域医療連携の強化

(1) 地域医療機関との連携

『地域医療支援病院』を取得するとともにその役割を果たし、引き続き地域の医療機関との機能分担と連携強化を維持推進していく。また、地域医療連携パスの拡充、患者紹介率及び逆紹介率の向上と維持を図る。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
紹介率	65%	70%
逆紹介率	50%	70%
地域連携クリニカルパス実施件数		
脳卒中	60件	60件
大腿骨	50件	50件
連携協力医療機数 (年間紹介件数5件以上)	170件	160件

(2) 地域医療への貢献

公開講座の開催や、地域の医療従事者を対象とした各種研修会への講師派遣等を通じて、地域医療連携の推進に取り組む。

また、小山地区医師会など関係医療機関と協力し、患者にとってのケアの連続性を重視した医療の提供を行うことで、地域医療に貢献することを目指す。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
オープンカンファレンス開催回数・研修会等派遣数	12回	40回

(3) 積極的な情報発信

広報誌やホームページ等の更なる充実を図り、病院の特色や取組状況についてよりわかりやすく積極的に情報を発信する。また、市広報へ添付配布される「新小山市民病院だより」や医師会向け広報紙「ニュースレター」市民向け「わかぎ」など小山市や小山地区医師会と連携し啓発活動に取り組む。

特に医師会との連携においては「連携医療機関情報カード」の登録推進を図り、より親密な信頼関係の構築に努める。

5 信頼性の確保

(1) 医療安全対策等の徹底

患者及び職員の安全を確保するため、医療安全や感染対策の研修を全職員および各所属別に開催し、医療安全対策の徹底、院内感染の防止に努める。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
インシデント・ヒヤリハット報告数	1,000件	1,000件

(2) 外部評価の活用

5月に財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、以後においてもPDCAによる業務改善や院内医療全体の維持向上を図る。

(3) 法令・行動規範の遵守

公的な医療機関としての使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守することはもとより、内部規定の策定及び検証、倫理委員会等によるチェック等を通じて、役職員の行動規範と医療倫理を確立する。

(4) 情報の開示

個人情報の保護及び情報の開示については、小山市の関係条例を例としながら、法人独自の基準等を整備し、適切に対応する。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため取るべき措置

1 業務運営体制の構築

(1) 組織と運営管理体制の確立

地方独立行政法人として、地域医療圏での診療ニーズに十分応えられる組織の構築を進めると共に、経営計画の進捗管理と財務状況の定期的な検証を行い、病院運営施策の改善を継続的に実践することで、中期計画及び年度計画の着実な達成を図る。

(2) 事務経営部門の強化

各事務職員の業務スキル及びコスト意識を向上させるため、各種の研修会、講習会等への参加等を通じ、各人の自己啓発を促進する。また、若手スタッフに対しては、経営会議等における病院経営上の意思決定に関する情報の共有化を図りつつ、経営感覚の高い人材育成を実践する。これらにより、病院経営をリードできる事務経営部門の確立に努める。

(3) 事務経営部門職員の計画的採用

小山市からの派遣職員との引継、病院運営上の施策に対する有効な貢献を期待出来る人材の登用を前提に、費用対効果を十分考慮した採用計画の立案及び適正な人選を目指した採用試験の実施等を継続的に行う。これらにより、事務経営部門スタッフの充実を図る。

(4) 業務改善への取組

病棟会議、病棟医長会議を定期的に行い、職員間のコミュニケーションを向上させ、患者、経営、運営の各視点から業務改善を図る。

2 魅力ある病院づくり

(1) 意欲を引き出す人事給与制度の構築

人材育成及び職員のモチベーションの向上を図るため、職員の努力や成果を適正に評価できる人事評価制度を行う。

(2) 職員満足度の向上

各種会議、委員会活動の活性化を図り、各職員がセクションを超えて業務上のコミュニケーションを忌憚なく行える職場風土を醸成することで、目的意識を共有し、公的病院に求められる使命や成果を十分に遂行及び獲得出来る、モチベーションの高い組織づくりに努める。また、医療従事者がそれぞれの専門性を発揮できるよう、常に職務内容の改善や創意工夫に努める。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
職員満足度	年1回実施	年1回実施

(3) 働きやすい職場環境の整備

職員の適正配置、勤務形態の見直し等により、仕事と生活の調和がとれる職場環境を築く。

また、短時間勤務制度の更なる周知、院内保育所受入制度の拡充等により、性別、職位職能に関係なく、働きやすい職場づくりを図る。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
短時間勤務制度医師数	3人	3人
短時間勤務制度看護師数	5人	5人

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するため取るべき措置

1 経営基盤の強化

小山市からの運営費負担金のもと、地域における公的な病院としての使命と役割を果たすとともに、独法化2年間の経営・収支状況を的確に分析し、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、収益の増加及び費用の節減に努めることによって安定的かつ戦略的な病院経営を行う。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
経常収支比率	102.2%	100.1%
医業収支比率	100.9%	99.8%

2 収益の確保と費用の節減

(1) 収益の確保

機能評価係数の更なる向上を目指し、急性期病棟の効率的活用と地域包括ケア病棟の安定活用を図り、平均在院日数の適正化と入院単価の向上を目指す。

また、請求漏れや査定の防止に努め、未収金対策を専門家とのタイアップによる対策を講じる。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
入院患者数	87,600人	87,600人
入院診療単価	41,333円	46,333円
病床稼働率	70.2%	80.0%
平均在院日数	14.0日	13.0日
外来患者数	153,720人	146,500人
外来診療単価	11,000円	10,500円

(2) 費用の節減

SPD業者との在庫状況、仕入品目及び価格等の情報交換を密にし、良質な診療材料の選定及びその仕入価格交渉に努める。また、在庫管理にも十分な目線を入れつつ、全体的な費用節減を図る。また、DPC導入によりジェネリック医薬品の使用拡大、納入業者に対する継続的な値引交渉等を通じて、薬品の支払額を抑制する。その他委託費、消耗品費等の経費節減の徹底を同時に図る。

【目標指標】

指標	平成26年度目標値	平成27年度目標値
材料費対医業収益比率	21.6%	20.9%
経費対医業収益比率	18.2%	18.5%
給与費対医業収益比率	61.4%	64.1%
ジェネリック医薬品の品目採用率	17.0%	25.0%

※上記、給与対医業収益比率目標は、事務職給与も見込んだ数値。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するために取るべき措置

1 新病院開院に向けた取組

平成27年9月の建設工事完成に向け、質の高い建物を確保するための工事監理及び確実に工事の進捗を図るための工程管理に努める。また、建設業者との交渉機会にも建設課のみならず、経理担当者、経営陣が積極的に参加し、適正な建設コストの維持に努める。

第5 予算、収支計画及び資金計画

1 予算（平成27年度）

区分	金額（百万円）
収入	
営業収益	6, 218
医業収益	5, 765
運営費負担金	273
運営費交付金	130
補助金等	50
営業外収益	115
運営費負担金	95
その他営業外収益	20
資本収入	4, 990
長期借入金	3, 202
補助金等	1, 788
計	11, 322
支出	
営業費用	5, 957
医業費用	5, 638
給与費	3, 368
材料費	1, 203
経費等	1, 067
一般管理費	319
営業外費用	113
資本支出	6, 321
建設改良費	6, 165
償還金	137
その他資本支出	19
計	12, 391

（注1） 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがある。

（注2） 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

【人件費の見積】

総額3, 697百万円を支出する。この額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

【運営費負担金の見積】

運営費負担金については、総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」（総務省自治財政局長通知）に準じ算定した額とする。

なお、建設改良費及び償還金に充当される運営費負担金については、経常費助成とする。

2 収支計画（平成27年度）

区分	金額（百万円）
収入の部	6,319
営業収益	6,206
医業収益	5,754
運営費負担金収益	273
運営費交付金収益	130
補助金等収益	49
営業外収益	113
運営費負担金収益	95
その他営業外収益	18
臨時収益	0
支出の部	6,312
営業費用	6,086
医業費用	5,767
給与費	3,368
材料費	1,163
経費等	990
減価償却費	246
一般管理費	319
営業外費用	226
臨時損失	0
純利益	8
目的積立金取崩額	0
総利益	8

（注1） 計数は、それぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計と一致しないものがある。

3 資金計画（平成27年度）

区分	金額（百万円）
資金収入	14,327
業務活動による収入	6,238
診療業務による収入	5,765
運営費負担金による収入	273
運営費交付金による収入	130
補助金等による収入	50
その他業務活動による収入	20
投資活動による収入	1,788
その他投資活動による収入(補助金等)	1,788
財務活動による収入	4,702
長期借入による収入	3,202
その他財務活動による収入(短期借入)	1,500
前年度からの繰越金	1,600
資金支出	14,327
業務活動による支出	6,070
給与費支出	3,686
材料費支出	1,204
その他業務活動による支出	1,180
投資活動による支出	6,185
有形固定資産の取得による支出	6,165
その他投資活動による支出	20
財務活動による支出	1,661
長期借入金等の返済による支出	24
移行前地方債償還債務の償還による支出	137
その他財務活動による支出(短期借入)	1,500
次年度への繰越金	411

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計と一致しないものがある。

(注2) 当年度資金増加額の減少分のうち、1,000百万円は後述第6の『短期借入金』に該当。資金は期末完済、次期期首減額借入の流れとなりキャッシュフローの実態面に大きな影響は及ぼさないもの。

第6 短期借入金の限度額

1 限度額

2, 500百万円とする。

2 想定される短期借入金の発生事由

賞与支給による一時的な資金不足や予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給など偶発的な出費への対応、また新病院建設事業における多額の出費等を想定している。

第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

平成28年1月に新病院開院を予定しており、これを持って現病院の土地、建物、構築物等の固定資産は使用を終了する。よって、当初予定通りにこれらが不要財産と認定された場合は、その段階で小山市に返納を行う計画となっている。

第8 剰余金の使途

決算において剰余が生じた場合は、病院施設・設備の整備・改修、医療機器等の購入、長期借入金の償還、人材確保事業及び人材育成事業の充実に充てる。

第9 地方独立行政法人新小山市市民病院の業務運営等に関する規則（平成25年小山市規則第8号）に定める事項

1 施設及び設備に関する計画（平成27年度）

施設及び設備の内容	予定額（百万円）	財源
新市民病院建設事業	5, 364	補助金、負担金、小山市長期借入金、県公的医療貸付金

（注1） 金額については、見込である。